

一 問一 アフリカの探検が本格的になってからわずか二〇〇年あまりで、それまで詳細や全体像が人々に知られていなかったため。

問二 イ・オ

問三 原始はすべてのことながら命にかかわることであるため、自分の目で見て判断することが重要となり、パターン化できないため。

問四 ・見たものをヒトの言葉で置き換えて理解しようとする。

・便宜上言語化していることを忘れて誤解してしまう。

問五 1…カ 2…ウ 3…オ 4…イ

問六 ウ

問七 動物の「伝統」「作法」であり、それを人が「道具」「知能」と結びつけているにすぎない可能性が高いから。

問八 ゾウの、家族ごとに異なる草の食べ方。

問九 イ

問十 常識にとら

問十一 いつも車の中から動物たちを見ていたが、車を降りて動物たちと同じ空気の中に降り立つと、動物に近い目線で彼らを見ているため、いつもと異なることに気づき、それに驚きを感じたから。

問十二 イ・オ

問十三 科学者が、理論的に考えて整合性がとれることについて、よく調べもせず全体に通ずると断定してしまうこと。

問十四 ア

問十五 めったにない

問十六 いい

問十七 片端から

問十八 自然の現象に対してその不思議さを解明するのが自然を科学する自然科学なのに、自分の理論に自然を合わせようとして本末転倒を起こすということ。

問十九 ウ

問二十 (1) a…イギリスの有名な鳥類学者

b…来る日も来る日も自分の目でひらすらペンギンを見てきた筆者

(2) 左右の足の太さが違うこと。

問二十一 私は自分を「頭のいいひと」と思う。友人が突き指したときに、指を引っ張って悪化させたことがあった。自分で調べず、聞きかじった知識を信じ込むという点で、本文の、一部をみて全体と思いきみ、自ら確かめない「頭のいいひと」と似ていると思うからだ。

二

ア・エ・カ

三

(1) 温厚 (2) 推移 (3) 貯蔵 (4) 雑穀 (5) 帰化 (6) 刷新 (7) 収拾